〔後列〕吉冨 元浩・田端 好隆・久保 洋行・坂本 順三・中村 友博・野田　寛・谷川 敏勝・松下 倫三・長谷 誠一
〔前列〕入江　学・鯛瀬 優一・副委員長 中内　孝・委員長 米村 和雄・古川 紀満・岩﨑　卓・吉野不二夫

## 総務常任委員会報告

3月定例会において、総務常任委員会に付託された、平成17年度宇城市一般会計暫定予算を審議した結果を報告致します。

3月16日から3月18日の3日間、審査にあたりました、総務企画部、会計課、議会事務局、監査委員事務局の所管する歳入は、29億3500万円で、主なものは地方交付税23億6000万円、市債2億3000万円等。歳出は、6億4200万円で、主なものは本庁、支所の管理費7800万円、電算運営費3900万円等となっており、これらについて、総務企画部長、各担当部課長より所管の予算案について説明を求めました。

次いで質疑に入りましたが、関係執行当局に申し入れた5項目にわたる意見を報告致します。

### ①消防団の組織の見直し及び団員の確保について

地域に密着した実効ある組織とする見直しが急務である。

### ②電話交換委託業務について

不知火支所では2人配置しているが、本予算では十分検討すべきである。

### ③宇城市町会負担金及び宇城市議会議長負担金について

早急に改善すべきである。

### ④旧町で締結した契約の見直しについて

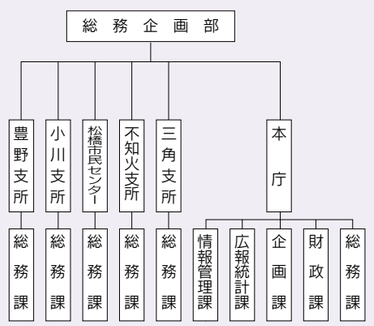
合併により業務内容の変更等がある。契約を見直し経費削減に努力すべきである。

### ⑤各種協議会期成会等の活動について

合併により解散、休止している組織で市民の要望が高いものは早急に活動を再開すべきである。

以上、本委員会の審査の報告と致します。

【所管する部課】



〔後列〕益田 和成・松本 民雄・椎野 和代・橋田 和征・坂﨑 改輝・緒方 市男・西村　智・宮﨑 正光
〔前列〕亀田 靖紘・上村 宏一・副委員長 北岡 宏一・委員長 枝村 範嗣・岩﨑 紘一・豊田 茂稔・坂本 勝藏

## 経済常任委員会報告

本委員会に審査が付託された事件は、平成17年度宇城市一般会計暫定予算のうち、経済部及び農業委員会事務局所管の予算であります。

審査は3月16日から18日までの3日間行いました。各部課所管に対する委員からの質疑、意見等は3日間活発に行われました。その主な質疑、意見は以下のとおりです。

### ①旧町で建設した農産加工施設に対する運営費補助の妥当性と民間競合について

地産地消の観点から地域農産物に付加価値をつけ、農業の活性化、農家所得の向上、足腰の強い農業を確立するため、行政支援は不可欠である。

民間競合については、競争原理の中で商工業種と農産加工グループが切磋琢磨し、共存共栄することが、地域活性化につながる。

### ②4Hクラブ員等、農業後継者育成について

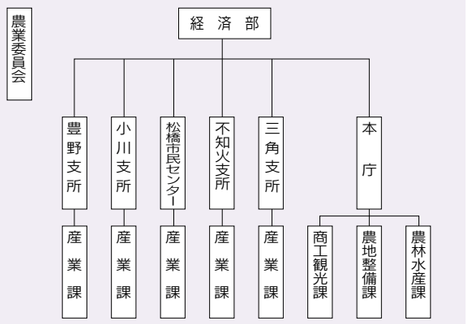
厳しい農業状況の中、急務であり、宇城市として充分取組んでほしい。

### ③商工会の合併、組織の問題について

合併によって県の補助要項の適用が変わってくるため、指導員の減少、職員の減少を余儀なくされ、結果として商工会活動に支障をきたす。今後は組織、事業の見直しを進め、市内の各種団体等との連携を深め、具体的な商業政策をとる必要がある。

### ④経済部所管の事業について

6月定例会前まで、旧町時の継続事業を含め、現地調査を実施し、事業の効果等を含め審査することにしている。

以上、本委員会に付託された事件についての審査の概略報告と致します。

【所管する部課】